

令和 8 年 第 7 回

江戸川区教育委員会定例会会議録

日 時：令和 8 年 4 月 1 4 日（火）午後 1 時 3 0 分

場 所：教育委員会室

教育長	内 野 雅 晶
教育長職務代理者	森 本 勝 也
委員	伊 藤 真 弓
委員	松 山 隆 之
委員	天 野 安 喜 子

事務局	参事	野 口 千 佳 子
	教育推進課長	栗 間 大 介
	教育指導課長	大 川 千 章
	学校建設技術課長	武 藤 剛
	教育相談センター長	森 川 康 一
	統括指導主事	田 中 将 一
	統括指導主事	堀 田 誠
	統括指導主事	松 本 大 将

書 記	教育委員会事務局	
	教育推進課庶務係長	清 水 敏 幸
	同 主査	大 迫 茉 莉

内 野 教 育 長	開会時刻 午後 1 時 3 0 分 ただいまから、令和 8 年度第 7 回教育委員会定例会を開催いたします。 本日は 1 名の方から傍聴の申出がございました。 事務局は傍聴人を入室させてください。 〔傍聴人入室〕
教 育 長	それでは、日程第 1、本日の署名委員を決定します。 本日は、松山委員と天野委員にお願いいたします。よろしくお願いいたします ます。 続いて、日程第 2、教育関係事務報告にまいります。 教育委員会後援名義の使用承認について、事務局から説明をお願いいたし ます。
栗間教育推進 課 長	では、資料、教育委員会後援名義の使用承認についてということで、申請 資料一覧、横版の資料をご確認ください。 本日は、3 件の使用承認申請が上がってきております。 まず、1 件目、第 4 8 回わんぱく相撲江戸川区大会。申請者は、プロジェ クトわんぱく協議会会長でございます。 今回が区教委の 4 7 回目の申請となっております。 開催日時は令和 8 年 5 月 1 0 日、実施会場は江戸川区スポーツセンター。 対象は区内の小学生ということになっておりまして、経費の徴収はございま せん。 次に、2 件目でございます。ピティナピアノステップ船堀 5 月地区。申請 者は、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会、ピティナ下町えどがわステー ション代表でございます。 区教委の申請は 8 回目になります。 実施日時、5 月 1 0 日日曜日、実施会場、タワーホール 5 階小ホールとな っております。 こちらの参加対象につきましては、制限は設けておりませんが、主に本区 の子どもたちということになっております。 こちらにつきましては経費徴収ありで、こちらは演奏の時間によりまし て、7 , 0 0 0 円から 2 万 5 0 0 円という幅がございます。 3 件目でございます。江戸川区内で高等学校スタートアップ相談会。申請

	者はNPO法人らいおんは一と理事長でございます。 区教委の後援申請は4回目となります。 実施日時は、令和8年5月17日。実施会場は、関東第一高等学校。対象の範囲は区内中学校の2年生、3年生の生徒、保護者でございます。 以上3件となります。よろしくお願いいたします。
教 育 長	それでは、3件ございましたので、1件ずつお諮りしていきたいと思えます。 それでは、わんぱく相撲について、何かご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。
天 野 委 員	相撲競技というところは割と取り組みやすいスポーツですね。理解しやすい規定、試合の規定だと思うんですけども、今回から、ルールも変えているということも含めて、今、多くの子どもたちが参加をしているかと思いますが、おおむねどれくらい参加しているか、参考のために教えていただければありがたいです。
教育推進課長	現状でいきますと、400名から500名程度と伺っておりまして、前回の申請の結果報告では、450名と伺っているところでございます。
天 野 委 員	ありがとうございます。それだけの人数が集まるって、なかなか他競技ではない、見られない部分もあるかと思いますので、わんぱく相撲を中心に、江戸川区の子どもたちの健康増進と、あと、親睦が深まることを期待しています。 以上です。
教 育 長	ありがとうございます。 ほか、わんぱく相撲に関して、何かありますか。
森 本 委 員	質問というか、一応報告ですけど、わんぱく相撲は協賛等もさせてもらっているんですけど、東京23区の中で人数、動員数が一番大きな大会だそうです。実行委員長からそれをお聞きしました。報告です。
教 育 長	ありがとうございます。 ほかに何かわんぱく相撲はございますでしょうか。

	〔「なし」と呼ぶ者あり〕
教 育 長	それでは、続きまして、ピティナピアノステップ船堀5月地区という、ちょっと風変わりな名前になっていますけれども、これについて何かご質問等がありましたらお願いいたします。 よろしいですか。 このタイトルが5月地区となっているので、6月地区とかあるんですね。
教育推進課長	ネーミングの由来については、あまり詳しくは伺っていないんですけれども、こういう大会をやるに当たって、こういう名前をつけていくというようなのが主流だそうでした、5月の由来まで、すみません、伺っていない状況です。
教 育 長	分かりました。 これは8回目ということは、毎年やっているということによかったですか。前は昨年度ですか。
教育推進課長	おっしゃるとおりでございます。
教 育 長	分かりました。ありがとうございます。私の認識がなかったので、ちょっと気にかけたいなと思いました。 では、ピティナピアノステップ船堀5月地区は、ほかは何かございますか。
天 野 委 員	一つだけ。参加費が、子どもに向けてはちょっと高いのかなと思われるところの中で、これぐらいの費用が、通常のこういうピアノに関しては普通のかなと思う反面、好きだけれどもという子には、ちょっと差別化ではないんですけれども、参加できない遠い存在になっているんだろうなということも懸念するところではあります。 その中で、教育委員会後援ということは、それこそ万民という言葉が正しいかどうか分かりませんが、広く皆さんが参加できるところに後援を持っていけたらいいなと思っている、個人的には。 その辺の対応というのは、何かお聞きされていることはありますか。

教育推進課長	私どもも、やはり費用負担の面で、少し高いのかなというような印象は持っておりまして、その辺りのところを団体さんとも少しやり取りさせていただいたところでございます。 一つは、まず、演奏をしない見学については無料で入れるということでしたので、音楽に触れる機会というのは十分確保されていますというお話が一つ。 もう一つは、全日本ピアノ指導者協会という全国団体にこの会はひもづいておりまして、そこから、いわゆる評価をいただく方の派遣を受けた、そういったところでやっぱりある程度の費用負担が発生していくという説明を受けておりまして、やむを得ない部分もあるのかなというふうに捉えているところでございます。
天 野 委 員	今の説明で、十分ではないんですけども、理解はできました。 その上で、やはり差別化につながるようなことのないように、区の教育委員会ということの中で、そういった思いは引き続きお伝えしていただければありがたいと思います。 以上です。
教 育 長	ありがとうございます。 この告知方法の対象が、江戸川区の子どもたち（幼稚園、保育園、小、中、高等学校）となっているようなので、もしかしたら音大に進学するようなお子さんとか、音楽高校に行っているお子さんとかもあるのかもしれませんが、2,800曲の課題曲があるという、このシステムはすごいなと。 それで、このグレード分けみたいなの、23段階とかというのも、やっぱりステータスが相当上のほうの高いものをやるんじゃないかなという気もしました。ちょっと興味がありますね。
伊 藤 委 員	すみません。今の天野委員の質問に関することなんですが、先ほどの資金のところ、支出のところ、旅費、交通費の中にアドバイザーへの審査料というのが入ってまして、これというのは協会側から認定する方のアドバイザーの審査料ということなんでしょうか。
教育推進課長	おっしゃるとおりでございまして、旅費、交通費、複数の方をお招きすることと、あと、お一人は北海道からお招きするというふうに伺っておりまして、その方の旅費負担分、また、宿泊が伴うことが必要というふうに

	説明を受けておりますので、その部分も合わせると、ちょっとした高額になりがちというような説明を団体から伺っております。 以上です。
教 育 長	よろしいですか。
伊 藤 委 員	旅費、交通費の中にそぐわない気がちょっとしたもので。
教 育 長	分かりました。
天 野 委 員	もう一点だけ、ごめんなさい。深掘りして恐縮です。 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会って、この協会は似たような協会って結構あるものなんですか。 何とお伝えすればいいですかね。いろいろな協会が、同じ中でもいろいろな名前があって、多数分かれている中の1団体なのか、その他の団体はこういうことを行おうと思っても、後援申請していないのか、ちょっと分からないんですが、その辺の位置づけというのをもしご存じであれば、お願いします。
教育推進課長	すみません。同等の団体がほかにあるかというところについては、申し訳ございません、把握はしていないんですが、この団体の役員一覧という資料を頂いておりまして、そちらを見ますと、一部上場企業、有名企業の会長さんとか、あと、国会議員さんとか、あと、ピアノの関係で恐らく指導者クラスの方なんだろうなというような教授系の方とか、そういった方々が理事として名を連ねているというような団体の実態は伺えるところでございます。 あわせて、ちょっとすみません、若干関連しないかもしれないんですけども、若干ちょっと古めの資料なんですけど、2023年度の全国のステップの講演会の状況ということで資料を頂いておるところなんですけど、全国でおよそ600、このような催しを行われているものなんですけれども、うち400弱の催しで、それぞれ開催地の地方公共団体であったり、教育委員会もご後援いただいているというようなお答えをいただいているところでございます。 以上です。
教 育 長	よろしいですか。

	分かりました。 それでは、続きまして、最後ですね。江戸川区内高等学校スタートアップ相談会について、何かご意見等がありましたらお願いいたします。
伊 藤 委 員	こちらは昨年も開催された記憶があるんですが、参加者はたくさんいらっしゃったんでしょうか。大体の。
教育推進課長	昨年の開催実績をいただいておりますが、1日でおおよそ720名の参加があったというふうにメール報告をいただいておりますのでございます。 以上です。
伊 藤 委 員	ありがとうございます。
教 育 長	私も去年これを見に行きましたけれども、やはり親子が列をつくって待っているような形で、交通整理をするような入り口だったかなと思いますね。とても真剣な表情の中学校3年生が来ている印象を持ちました。 ほか、スタートアップ相談会はいかがでしょう。
松 山 委 員	らいおんはーとさんはスタートアップもそうですし、事業計画・内容、下段のところですね、中学・高校進学フェアも今年も予定されているということで、積極的に子どもたちのために進めていただいていることに感謝を申し上げます。
教 育 長	ありがとうございます。 いろいろな学校が出展というか、入ってまいりますけれども、今、少子化の時代でもありまして、子どもたちにいかに興味を持ってもらうか、自分の学校に来ていただくかということで、学校側もすごく一生懸命子どもたちに接してくださるという、温かい目でしてくださるということで、本当にいい会だなという印象を持ちました。 それでは今、三つご意見を聴取いたしました。個別に何かご意見があるものはありますでしょうか。よろしいですか。 〔「なし」と呼ぶ者あり〕
教 育 長	では、一括でお諮りしたいと思いますけれども、この件について、ないよ

	うでありましたら、ただいまの報告事項を了承したいと思います。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
教 育 長	それでは、了承いたします。 次に、令和８年度江戸川区研究指定校、東京都教育委員会が指定する研究校の授業公開・説明会日程について、事務局から説明をお願いいたします。
大川教育指導課 長	それでは、私からは、令和８年度江戸川区研究指定校及びNEXT Hot Project実践推進校の日程について、ご報告させていただきます。 お手元の資料をご覧ください。 こちらは、昨年度までは、江戸川区教育課題実践推進校という名称で、これまで研究を進めてきた取組ではあったんですが、そちらの内容点について、今日的な教育課題の解決、また、教育課程の工夫改善に向けて、開発的な取組や実践研究をするということ。また、江戸川区の今後の施策に生かすためにということで、改めて研究指定校という形態に変更させていただいております。 また、上段部分が教育指導課が担う研究指定校、また、下の実践推進校のほうは、教育相談センターのほうの研究ということになってございます。 まず、上段部分の研究校についてでございますが、列の三つ、小岩第二中学校と、南小岩第二小学校、瑞江第二中学校については、教育課題研究指定校となります。 こちらについては、英語力向上、躊躇なく英語を話す児童生徒の育成や、生成ＡＩのソフトを活用した学びの充実、また、プレゼンテーションを通じた表現力の育成ということで募集をかけさせていただいた結果、以下のような学校名が挙げられたものでございます。 また、教育課程研究指定校、こちらにつきましては、授業時数とか研修会に関する取組。また、地域と連携した防災、また、学校が指定した課題に対する取組等で募集した結果、４校が今回研究校として指定したものになってございます。 教育課題研究指定校のこの３校については、２年間の取組になっているため、今年度の説明会は行う予定はございません。 また、東小松川小学校、船堀小学校、下鎌田小学校と篠崎中学校につきましては、紙面発表も含んで、２月に実施される予定となっております。

教 育 長 天 野 委 員	続いて、NEXT Hot Project 実践推進校でございます。 こちらの研究課題については、魅力ある学校づくり、ユニバーサルデザインラーニング、アントレプレナーシップ教育、いじめの早期発見早期解決への取組というタイトルでの研究課題となっております。 魅力ある学校づくりについては、葛西小・中学校、松江第四中学校、瑞江中学校でそれぞれ行われます。 また、ユニバーサル・デザイン・ラーニングについては新堀小学校。 アントレプレナーシップ教育については、松江第三中学校。 いじめの取組につきましては、南葛西中学校で行われる予定となっております。 説明会は記載のとおりとなっております。後日通知となっている部分は、まだ学校の中で期日が決定されていないということでございますので、また皆様方に改めてご案内させていただきます。 また、最後に、東京都の教育委員会が指定する研究校については、人権については小松川第二中学校で、令和9年2月1日に発表会が行われる予定となっております。 また、個に応じた指導ということで、「デジタルを活用したこれからの学び」推進校ということで、清新第一中学校が指定されてございます。こちらについては1月29日金曜日の予定となっております。 ご説明は以上でございます。 ありがとうございます。 全体を通じて、ご質問等がありましたら、お願いいたします。 今回、ここには指定校というところの記載があるんですけども、皆さん、募集をかけたらずを挙げてくださったというところの中で、やっぱり研究校を担っていると、私も前には、学校の内容を拝見させていただいたときに、全体として活気があるというか、活力があったり、あと、校長先生を中心に、学校全体、教員がまとまっていたりとか、いいところだらけだったなという印象を持っています。 今回、この手を挙げた人はどれぐらいの活力を目指してなのか、統率を目指してなのか、子どもたちのために、いろいろな理由があるかと思うんですが、手を挙げた人ってどれぐらいいて、逆に、3校しかなかったのか、もしくは江戸川区全体としては、みんなそういうのをやらなくても活気ある学校になっているのかというところをちょっと教えていただきたいんですが。
-----------------------------	---

教育指導課長	こちらについては、今お話にあったとおり、皆様、校長先生方が、もう年度前からやる気を示していて、次年度こそということで、名乗りを上げた学校ばかりでございます。 逆に言うと、選定から漏れているという学校については、特段、現在のところございませんで、前年度から、もうそういった形でお話しいただいていたところが今漏れなく入ったという状況でございます。 以上です。
天 野 委 員	もう一点、今のお話でちょっと嬉しい、よかったなと思っている安心感とともに、もう随分前から、1回もこういう指定校じゃないんですけども、手を挙げたことのない学校、校長先生がお代わりになっているところも理由としては挙げられるのかもしれませんが、そういったところは多分何校あるかと思いますので、こちらからお声がけしていくというのも一つの手段かなと思います。 その辺もちょっとどこかの片隅に止めておいていただけると、江戸川区全校が活気ある学校になっていただきたいなという思いも含めて、お願いをさせていただきました。 以上です。
教 育 長	貴重なご意見をありがとうございます。 ほかはいかがでしょうか。研究校全体についてです。
松 山 委 員	積極的な学校が数多くあることをうれしく思います。 1点お願いと申しますか、ご提案なんですけれども、通常の教育課程のほかに、さらに課題が職員室の中には増えてくるものだと思います。 職員室の中の一般教諭の端末というのは、いわゆるインターネット環境が自由に使えないというお話を伺ったことがありますて、こういった推進校や指定校には、もし可能であれば、区教委からの機械の貸与を1年間とか2年間していただけると、仕事のはかどりがよくなるではないかなと思われまので、もし可能なことがあれば、貸与とか、以後、お考えいただけたらと思います。 以上でございます。
教 育 長	ご意見として、ありがとうございました。

	ほか、研究校関係はいかがでしょうか。よろしいですか。 〔「なし」と呼ぶ者あり〕
教 育 長	それでは、ほかにはないようでございますので、ただいまの報告事項を了承したいと思います。 次に、令和８年度運動会・土曜授業の日程について、事務局から説明をお願いいたします。
教育指導課長	続きまして、令和８年度体育的行事の日程一覧のご報告になってございます。 こちらについては、小学校は５月開催の予定校が４４校と最も多く、続いて、１０月が１２校となっております。 また、中学校については、夜間学級の連合体育大会を除きまして、全ての学校で５月の開催となっております。 また、幼稚園につきましては、１０月１０日の開催予定となっておりますので、活気ある子どもたちの姿をもし拝見していただけるなら、ぜひ見ていただければと思っております。 ご説明は以上です。
教 育 長	それでは、ご質問等がありましたらお願いいたします。
伊 藤 委 員	ご質問ではないんですけども、やはり今年も暑くなる予報が出ておりますので、学校等でも工夫はされていると思うんですが、本当に毎年毎年、課題だと思いますが、ぜひとも無事故でよろしくをお願いいたします。
教 育 長	ありがとうございます。
天 野 委 員	全てご質問しちゃって申し訳ない。すみません。二つお伺いです。 １点目、５月の運動会ということで、新入生、１年生のところの４月に入学して、５月に発表会というのは、かなり子どもたちの負担ももちろんそうなんですけど、先生方の変なさというのがあるかと思うんですが、そこら辺の現場の声というのが出てきていますかというご質問が１点。 二つ目が、運動、タイム種目がどんどん減ってきているという、そういった話を耳にするのですが、そういった競技数って減ってきているんですか。

	やはり減ってくると、その競技に対する筋肉の使い方が全く違ってくるので、これはなかなか発育しないね、この筋肉はとか、この運動の量は少ないですねとか、そういったことにもつながってくるのかなと思っているんですが。 まとめますと、まず、入ったばかりの１年生に５月の発表会というのは、先生方のご負担のご意見はありますかということと、競技数の低下というのが今見られている傾向なんではないかというご質問です。
教 育 長	ありがとうございます。１年生というのは、小学校１年生でよろしいですか。
天 野 委 員	はい。すみません。
教育指導課長	まず、５月開催ということで、おっしゃるとおり、１年生にとっては２か月足らずで運動会に入っていくということで、子どもたちの発達段階からしてみれば、急に学校から慣れる期間を通して、今度は大きな行事に入っていくというところで、先生方のほうの指導の、腕の見せ所というところもございますし、あとは、逆に、配慮も必要だということになってございます。 そういった関連から申し上げますと、やはり春の段階で、子どもたちがお昼、給食とかの時間を過ぎて、これまで３時とか４時までやっていたような競技形態が大きく変わって、今はお昼には終了するという形態も多いことから、それに見合った競技数に変更されているような学校は、昨年度も多く見受けられているのが現状です。 また、なるべく日射にさらさないように、熱中症等の対策もあって、１競技の時間が少し縮減されていたりということで、そちらについては各学校で創意工夫をされているというのが現状でございます。 いずれにしても子どもたちの負担にならないように、また、なるべく日陰をつくりながらやるというような学校の工夫によって、今は５月開催が成立しているという状況でございます。 以上です。
教 育 長	ほかはいかがですか。
天 野 委 員	最後に１点お願いというところで、随分前でしょうかね。保護者のほうのアルコールが見られたということがちょっと話題に出たことがありますの

	で、その辺は重々に、学校ごとに徹底していただくようお願いをしてもらいたいということのお願いでした。
教 育 長	運動会なんかで、たばこを吸っちゃいけませんよと言っても、あまりお構いなしで吸っちゃう人とか、あと、水筒に別のものが入っている方とかね。 それでは、運動会・土曜授業関係ですけれども、土曜授業は各校3回設定がありますけど、そのうちの1回はイングリッシュデーということで、英語の活動の場面が見れるというのがありますので、ちょっと特に表記されていませんけど、今年の特色であります。いいですね。
教育指導課長	土曜授業の説明をしないまま体育的行事だけで終わらせてしまったんですが、続いて、少し補足で。
教 育 長	失礼しました。じゃあ、土曜授業を説明してください。
教育指導課長	では、少し補足で。おっしゃっているとおりのところでございます。 土曜授業は、現在、小中学校とも年3回から4回で実施をされている状況でございます。学校の道徳地区公開講座や、また今、教育長からお話がございましたとおり、イングリッシュデーを今年度は実施するようにお願いしているところでもございますので、それらの新しい取組も含めながら、子どもたちの活躍の姿を、多くの皆様方にご覧いただけるのではないかなと思っておりますので、どうぞ声援をよろしくお願いいたします。 以上です。
教 育 長	この太字がイングリッシュデーというふうに表記がありますので、太いやつと細いやつと判別しづらいんですけど、太字を狙っていただければ、イングリッシュデーということでご理解いただければと思います。 それでは、土曜授業について何かありますでしょうか。よろしいでしょうか。 〔「なし」と呼ぶ者あり〕
教 育 長	それでは、ないようでございますので、ただいまの報告事項を了承いたしたいと思います。 続いて、令和8年度チャレンジ・ザ・ドリームの実施日程について、事務

教育指導課長	局から説明をお願いいたします。 それでは、続いて、令和８年度チャレンジ・ザ・ドリーム実施日予定一覧をご覧くださいと思います。 こちらについては、これまで継続的に実施している事業ではございますが、生徒が職場体験を通して、大人の働く姿を間近で見て、自分の生き方を考えること、また、望ましい勤労観や職業観を持つということを狙いとして実施しているものです。 原則、中学校の２年生が連続した３日間の職場体験活動と、事前事後の学習を合わせて５日間で実施しているものになってございます。 表の上段については通常学級、下段は特別支援学級の予定となっております。多くの学校が２学期に職場体験を実施しておりまして、１１月に実施する学校が最も多く、次に１０月、１月となっております。 各学校においては、地域の生徒たちの実態に応じて、工夫を凝らして実施しています。 一例を申し上げますと、小岩第四中学校、こちらについては、１０月に社会人としての挨拶、また、お作法を学ぶということで、マナー教室を実施した上で、１月に事業所での体験学習、２月に事後学習ということで、一連の学びの振り返りまで行って計画している業務の予定となっております。 また、小松川中学校については、７月の宿泊行事に農業体験をされたり、農家の方々の話を聞くという機会を持って、１１月には、また別の事業であるスーパーマーケット、美容院、図書館など、様々な施設で職場体験学習を行っております。 そういった形で、様々な学校によって、創意工夫をされて進めている事業となっておりますので、これらの取組が充実したものになるように、教育委員会としても支援をしております。 ご説明は以上でございます。
教 育 長	この件についてご質問がありましたら、お願いいたします。
天 野 委 員	２点教えてください。 １点目が、それぞれの学校が工夫されているということで、こういった事業所をお願いしたいんだよね、だけど、事業所が手を挙げてくださっていないんだよねということも含めて、今そういった、なかなかそういう希望がない、出されている企業の中から選んでいくということになっているのか教え

	ていただきたいです。 二つ目が、そもそもこのシステムなんですけど、例えば区の教育委員会のほうで、こういった企業が手を挙げてくださっていると学校さんにお伝えしているのか、それぞれの学校さんが、もう個人個人がお願いをしていくのかという、そのシステムの流れというか、その辺をちょっと勉強不足で申し訳ないんですけども、教えていただけますか。
教育指導課長	まずは、両者あると思っております。 一つは、なかなかこの実施期間内に受入れが困難な事業所がある場合は、自校の中で探すというような形態で、先生方がいろいろなところからの情報、また、他校からの情報も得ながら、ご紹介をしていただくというような形態を取っている場面もございますし、逆に、教育委員会のほうに困ったといったときに、他校から情報を取り寄せたり、あるいは事業所でよいところの情報があればそれをご紹介させていただくようなことも、中にはあるように伺っております。 いずれにしても、学校が何を望むのかというところが、ニーズに合わない、なかなかマッチングの部分が進まない状況にもなってくるので、そういったニーズについてというのは、学校が、まずは主体に探すことが多いかなとは思っておりますが、そういった形で、希望事業所を見つけているというのが現状でございます。 以上です。
天 野 委 員	ありがとうございました。一つが学校、企業にお願いするということ、職務代理もいらっしゃるの、いろいろその内訳のことはご存じかと思うんですけど、学校は大変だな、ご苦労が多いただろうなというところで、断られたときの心のショック、小さいことからすれば、そういったことも含めて、何かお手伝いができる方向でシステムをつくっていただけると、よりよい部分が、気軽に学校がまたここここでもお願いできるかなということを選べるようなシステムを確立するといいいのかなと。 子どもを預けると、子どもが来ると、仕事の中ではちょっと大変かなという企業は多いでしょうから、その辺のご理解をいただければ、まず、教育委員会の中でいただいてから、学校は、いいみたいですよという流れだと一番いいかと、ちょっと感想的には思った次第です。 プラス一つ、受け入れてくださる企業が年々増えているのか、減少しているのか、そんなに変わりませんか、その三つのことだけいいですか。

教育指導課長	すみません。今ちょっと手元にその資料を持ち得ていないので、増減については、また確認してご報告させていただきますが、昨年ちょっとうれしかったのは、事業所のほうがチャレンジ・ザ・ドリームの取組をあまり知らない企業もあるので、ぜひ説明してほしいということで、昨年度は、指導主事のほうが、企業の皆様方にちょっとご説明をさせていただくような機会がございました。そんなよい取組をされているなら、ぜひうちの企業の皆さんにもご紹介できるような場所で広めていきたいというような申出もございましたので、周知のところは課題点もあろうかとは思いますが、そういった企業があるというところはありがたいなと思っております。 以上です。
教 育 長	よろしいでしょうか。 それでは、ほかはいかがですか。大丈夫でしょうか。 〔「なし」と呼ぶ者あり〕
教 育 長	それでは、続けさせていただきます。 次に、令和８年度新規採用教員及び期限付任用教員の採用状況について、事務局から説明をお願いいたします。
教育指導課長	それでは、新規採用教員及び期限付任用教員の採用状況についてご報告させていただきます。 初めに、今年度の新規採用教員及び期限付任用教員の採用状況については、新規採用教員、こちらは令和８年４月１日付で小学校が９８名、中学校が６１名の合計１５９名となっております。この中には昨年度期限付の教員であった方で、今年度正規教員になった２名を含んでいるものでございます。 また、期限付任用教員は４月１日現在で、小学校が１名、中学校が１名の計２名を任用しております。正規の新採と期限付を合わせると１６１名となっております。 小学校は新規の採用が昨年度は６５名で、今年度９８名の採用となっておりますので、３３名の増、中学校についても、正規の新規採用が昨年度は５６名で、今年度は６１名の採用ということで、５名の増となっております。

教 育 長	いずれにしても、安定した学校運営を行うために、採用する数にかかわらず、どの学校においても中堅教員以上が連携して、さらに組織的な人材育成を実施できるように、学校に求めてまいりたいと思っております。 ご説明は以上です。
森 本 委 員	ありがとうございました。 この件について、何かご質問等がありましたらお願いいたします。
教育指導課長	8年度は合計161名採用ということで、当然退職された方もいらっしゃると思うんですけど、その増減は、結局トータルどういうスコアになっているのでしょうか。
教 育 長	全体で退職をされていても、この正規の職員で欠員等が生じていないことから、総体としては増えているというのが現状でございます。いっそなくなっても、横転というか、異動されてこられた方と、あとは、正規で今のように新採で入ってこられた方も含めると、充当されているというのが現状でございます。 以上です。
教 育 長	よろしいでしょうか。 ほかはいかがでしょうか。 〔「なし」と呼ぶ者あり〕
教 育 長	それでは、ないようでございますので、ただいまの報告事項を了承いたします。 次に、江戸川区小中学校施設改築の基本方針(案)の意見募集結果及び「江戸川区小中学校施設改築の基本方針」の公表について、事務局から説明をお願いいたします。
野 口 参 事	小中学校施設改築の基本方針(案)の意見募集結果及び基本方針の公表についてご報告いたします。 まず、今年の1月15日から2月13日まで、基本方針についての意見募集を行ったところです。 募集方法は郵送、窓口、インターネットで提出をいただきました。8名の

	方から３２件のご意見を頂戴したところです。 この計画についての策定は、令和８年３月３１日です。 目的としましては、区内の学校施設は老朽化が進んでおり、また、児童生徒数の減少も見込まれるため、こうした状況を踏まえ、安全・安心な教育環境の確保と、将来の人口変動に対応した持続可能な学校施設の整備を進めることを目的とした計画、基本方針でございます。 ３番の基本的な進め方として、改築と延命化を組み合わせる整備をしていく。年３校程度のペースで計画的に着手する。 また、改築においては、ベースプランを活用し、質を確保し、コストの抑制を行う。 延命化については、将来の年少人口の推移を見据え、学校施設の延命化を進める。 また、地域利用も想定して、学校施設を利活用できる仕様を目指す多機能化を検討していきます。 財政計画としては総事業費４，１５２億円とし、基金と一般財源、補助金を組み合わせて対応していくということを、この基本的な進め方としております。 第一次報告をはじめとするこれまでの計画・方針をこの計画に統合し、社会動向を踏まえて、策定してまいります。 また、公表は４月中旬を予定しております。 以上でございます。
教 育 長	ありがとうございました。 何かご質問等がありましたら、お願いいたします。よろしいでしょうか。 〔「なし」と呼ぶ者あり〕
教 育 長	特にないようでございますので、この件に関しまして、報告事項を了承したいと思います。 続きまして、いじめ電話相談（令和８年３月分）について、事務局から説明をお願いいたします。
森川教育相談センター長	令和７年度３月分のご報告をいたします。先月１件の相談がございました。小学校４年生男子に対する直接的、間接的な言葉によるいじめの訴えについて、当該児童の母親からによる相談となります。

教 育 長	以上でございます。 ありがとうございます。 この件について、ご質問等がありましたらお願いいたします。
天 野 委 員	今現時点で、ここでお話できる、もう少し詳細なところを教えていただければありがたいです。
教育相談センター長 教 育 長	後ほど、また可能な範囲でご説明したいと思います。 ありがとうございます。 ほか、ご質問等がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。 〔「なし」と呼ぶ者あり〕
教 育 長	それでは、ただいまの報告事項を了承したいと存じます。 次に、いじめ電話相談（令和７年度合計）について、事務局から説明をお願いいたします。
教育相談センター長	令和７年度合計についてご報告いたします。令和７年度は計２３件の相談がありました。学齢別・男女別件数については、資料に記載のとおりでございます。 相談内容の主訴については、直接的な言葉によるものが多い結果となりました。相談者はほとんどが母親によるものということになっております。 以上でございます。
教 育 長	ありがとうございます。 ご質問等がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。 〔「なし」と呼ぶ者あり〕
教 育 長	それでは、ただいまの報告事項を了承したいと存じます。 続けて行きます。次に、令和７年度地域学習塾「ＥＤＯ塾」の実施報告について、事務局から説明をお願いいたします。

教育相談センター長	では、説明をさせていただきます。令和7年度における「EDO塾」の実施状況についての報告になります。 第一に、実施回数及び出席率についてでございます。通常講座は年43回実施、出席率は区内3か所の図書館全体で71.8%でありました。また、夏期講習は全12回実施、出席率は83.4%でした。そして、冬期講習は全5回実施の出席率81.0%でした。 今年度全体の出席率については74.6%で、結果的には、昨年度よりはやや低下をしております。学校の定期考査前であるとか、大きな学校行事前後に欠席者が増える傾向がございます。また、不登校のため、EDO塾に申し込んだんだけど、参加できなかったという生徒もおります。 第二に、成果についてです。配付させていただいた資料のとおり、62名、76.5%の生徒が第一希望の高等学校への進学を果たしております。その中には、進学指導重点校等の、いわゆる一般的に進学校と認識されている学校にも進学をしているところです。 参加生徒を対象とした終了後のアンケートで、「EDO塾に満足していますか」と質問したところ、「そう思う」、「ややそう思う」といった肯定的な回答が95.4%を占めております。自由記述からも、満足度の高さをうかがわせる生の声が多数届いているところです。 第三に、今後の課題についてです。運営事業者からは、自校作成問題を採用するような上位校の志望者から、基礎学習が必要な層まで参加をしている状況があり、学力の幅が非常に大きく、集団指導で一人ひとりに応じた対応をするのが難しかったといった報告を受けております。 授業内で個別対応ができる時間を設けてフォローするなど、工夫はしていただいているんですが、そういった課題があるのが現状です。 こうした状況を踏まえまして、今年度は出席率の向上につなげていくためにも、一人ひとりの課題に応じた指導ができるよう、一層指導の工夫に努めてまいります。 私からは以上でございます。
教 育 長	ありがとうございました。 何かご質問等がございますか。
伊 藤 委 員	このEDO塾の第一希望、第二希望に合計で100%が合格して、また、生徒さんの声がすごくすばらしいなという思いでいっぱいです。本当に学ぶ意欲がある子が学べるという最大にすばらしいことだと思います。

	ただ、3名退塾とあるんですが、差し支えなければ、一応3名の退塾の理由を、差し支えなければ大丈夫です。
教育相談センター長	先ほど申し上げましたアンケートについては、終了後のものでして、その3件については取れておらず、把握していないところでございます。
教育長	ほか、EDO塾関係のご質問は。
天野委員	基礎的なところを教えていただきたいんです。幾つかあるんですけど、まず、一つ目は、EDO塾というのは無償でしたか。
教育相談センター長	無償です。
天野委員	無償でいいんですよね。無償の中で、選抜されて、試験があって、上位の成績の人しか入れないのがEDO塾の特徴だったかなというところの中で、まず、受験、第一志望が76.5%というところは、内容がよかったんだろうなというか、指導の仕方が本当によかったんだろうなということを数字で感想を持っています。 逆に、出席率が低いというのが、選ばれて、無償で、ある意味、その子が出席できない、少ないのであれば、ほかの子を入れてもよかったのにとこの思いも。出席できないのであれば、辞退をして、違う子を入れるなど、落ちちゃったという子を積極的に入れてあげるようなシステム、システムばかりの言葉遣いはちょっとあれですけども、そういった要因が考えられるので、ぜひ入塾した子には、もちろん学校の試験は大事ですから、その日に休むということはあったとしても、71.何%でしたっけ。あれは低過ぎますねという思いが強いです。 もう一つが、無償なのであれば、EDO塾で使った教材、今お伝えさせていただいたように、入りたくて受験したんだけど、落とされた子にも、その教材というのをインターネットで公開していただければ、だけど、その子が入れていないから、個別指導は受けられないけれども、でも、勉強をする過程の一つの教材にはなるよねという思いも。ちょっと伺っていて、そういった方法、無償なのであれば、江戸川区の上位校を目指す子どもたちに対する提示にできるのかなと。一つ、そういうお考え描かれるとありがたいなと思っていますところです。

教育相談センター長	出席率に関してなんですけれども、やはり自分の学習に合っていないなと思うと、どうしても出席率が下がってしまうような可能性がありますので、先ほど申し上げましたように、一人ひとりに応じた課題に対応できるような授業形態等を工夫していくのがまず１点。 また、各学校、多少忙しい時期が違つかもしれないんですけれども、そういったことも踏まえた日程設定であるとか、事前の可能な範囲で、事業者に対する要望等は伝えて、出席率が上がるような工夫はしていきたいと思います。 また、教材については、著作権等の問題もあるかと思うので、可能な範囲で検討を進めて、できるだけ努めていきたいというふうに思っております。
天 野 委 員	最後に一つだけ、もしこれが例えば上位校であれば、塾に行ったら相当な額の費用をお支払いしながら受けなきゃいけない。その子たちは多分休まないと思うんですね。 合う、合わないとかではなくて、休まないで必死に食らいついていくというところ、その辺の自由さというところが、ＥＤＯ塾には、子どもたちにいいほうに考えれば、その自由さがある区の施設ではないんですが、学習塾になっているなど。 表裏一体で、やっぱり責任というか、選ばれた責任ということもぜひ持っていていただきながらも、もし入塾で合わないのがあるのであれば、事前にこういうことをやりますけれどもということを、定義を見せてあげてから、受けますか、どうですかというのも一つ、入ってから一人ひとりではなくて、入る前に、こういうところだよというところをまず見ていただいて、合うなと思った中の上位でもいいのかなと。もったいないなとちょっと思ってしまったところです。
教育相談センター長	今、委員のおっしゃったとおりだと思いますので、事前説明とか、そこら辺も工夫して、しっかり説明した上で申し込んでいただくような努力をしたいと思います。 以上でございます。
教 育 長 松 山 委 員	それでは、ＥＤＯ塾関係はよろしいでしょうか。 令和７年度のＥＤＯ塾の入塾の倍率は１を下回っていたように記憶した

教育相談センター 長	んですが、入れなかった子というのは、希望者としておりましたか。
松 山 委 員	下位の子については、何名かやっぱり入れなかったという状況があります。
教育相談センター 長 松 山 委 員	では、令和８年度もこの８４名ぐらいが人数的なりミットではなくて、学力的に入れなかったということですね。
教育相談センター 長 松 山 委 員	学力的には多少予想していたよりも低い子も入っておりますので。 ありがとうございます。 保護者に何回もご報告、ご案内されていたのを記憶していたので、定員に達していなかったのかなと思って。
教 育 長	ほか、ＥＤＯ塾関係はよろしいでしょうか。 〔「なし」と呼ぶ者あり〕
教 育 長	それでは、ないようでございますので、ただいまの報告事項を了承いたします。 以上をもちまして、令和８年第７回教育委員会定例会を終了いたします。 ありがとうございました。 閉会時刻 午後２時２０分